

放射線治療に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター放射線治療科では、「子宮頸癌根治的放射線治療（同時化学放射線療法）における中央遮蔽なしの外部照射と 3 次元画像誘導小線源治療併用に関する多施設共同後ろ向き観察研究」に参加することになりました。この研究の目的は、子宮頸癌の患者さんの治療結果を調べて、放射線治療が及ぼす影響を明らかにすることです。

この研究のため、2014年1月1日より2020年6月末までに治療した方の診療録の調査を行います。対象は外部照射と3次元画像誘導小線源治療を受けた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（疾患情報、治療内容、治療後経過）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります沖縄県立中部病院放射線治療センターにCD-ROMにて送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については別紙をご覧ください。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年10月

研究責任者

東京医療センター 放射線治療科

萬 篤憲

連絡先 03-3411-0111(代表)